

プレスリリース

アマゾン森林保全・違法伐採防止のための ALOS 画像の利用プロジェクト

通称「**ALOS** プロジェクト」が開始されました。

～7月14日にプロジェクト紹介及び成果発表セミナー～

DPF/IBAMA/JICA/ABC

2009年6月17日に「アマゾン森林保全・違法伐採防止のため ALOS 画像の利用プロジェクト」が開始されました。本協力は JICA（独立行政法人 国際協力機構）の技術協力により実施されるもので、ABC（ブラジル国際協力庁）、IBAMA（ブラジル環境再生可能天然資源院）、DPF（連邦警察）、JICA の間で 2008 年の末に協定が締結されました。

プロジェクトの目的は日本が打ち上げた衛星 ALOS(*Advanced Land Observing Satellite*、愛称：**だいち**)の画像を利用してアマゾン熱帯林の不法侵入及び違法伐採の取り締まりを強化することで熱帯林を保全することです。

ALOS のレーダーセンサー(PALSAR)は、光学センサーでは判定できない雲の下も記録できるので、年間を通して環境犯罪をモニタリングすることが可能となります。また、ALOS には2種類の高度な光学センサー(PRISM e AVNIR)も搭載されており、これらセンサーを活用することでより詳細な地上の状態を把握することが可能となるため、環境犯罪鑑定書の作成にも活用することが可能となります。

プロジェクトの活動を通じ、1. 連邦警察官及び IBAMA の職員が ALOS の画像を分析し、熱帯林モニタリングに活用できるようになること、2. 既存のアマゾン・モニタリングシステムに ALOS 画像が活用されること及び3. ALOS 画像が環境犯罪の鑑定書作成に役立てられることが具体的成果として求められています。

2009年7月14日午後14時30分よりブラジル外務省に於いてプロジェクト紹介及びそれまでの成果発表セミナーが開催される予定です。

詳細についてはJICAブラジル事務所業務班（担当：井上ジュリオ、宮本義弘）までご照会ください。

tel:61-3321-6465, e-mail: JulioAkira.br@jica.go.jp, miyamoto.yoshihiro@jica.go.jp



www.jica.go.jp/english
www.jica.org.br

コンタクト
JulioAkira.br@jica.go.jp

コンタクト
Wofsi.Souza@abc.gov.br

www.abc.gov.br



www.dpf.gov.br

コンタクト
Guilherme.ghbm@dpf.gov.br

コンタクト
csr.sede@ibama.gov.br

www.ibama.gov.br

